

学校自己点検・評価結果（2023年度）

1. 学校自己点検・自己評価

専修学校の学校評価は、平成19年の学校教育法および同施行規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、および②学校関係者評価の実施・結果の公表に関する努力義務が課されています。

2. 自己点検・自己評価についての取り組み

2015年度より6年間は、舟島なをみ氏の評価ツールと他校の評価項目を参考に学校独自の50項目の評価項目を作成し自己評価を実施してきました。しかし、評価項目の意味を確認すると、重複しているものや、意味の理解に難解なものがある事実に行き着きました。そこで、2021年度からは舟島なをみ氏の評価ツールと文部科学省が規定する「専修学校における学校評価ガイドライン」を本校に当てはめ、52項目のものを作成し実施しています。

学校関係者評価は、2019年度から実施を開始しています。

3. 教員の評価項目の解釈差異

教員個々の解釈により差が生じないように、項目の理解を図る教職員会議を設けた上で自己評価を実施しました。

4. 自己評価結果（別紙）

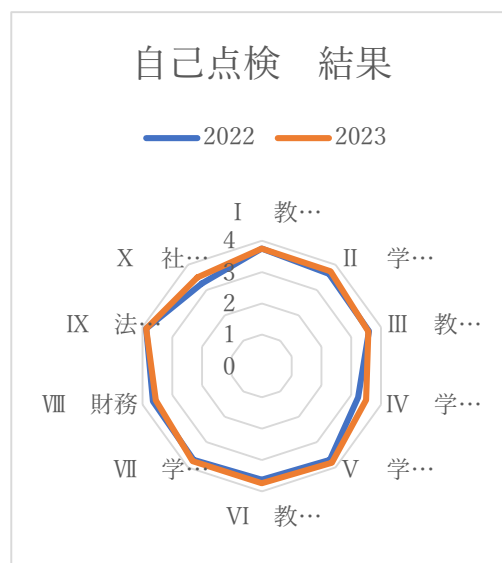
自己点検・自己評価項目は、I教育理念・目的 II管理運営 III教育活動 IV学修成果 V学生支援 VI教育環境 VII学生の募集と受け入れ VIII財務 IX法令用の順守 X社会貢献・地域貢献 の10の評価内容に分類し、52の小項目評価について実施しています。評価は4段階とし、4 適切、3 ほぼ適切、2 やや不適切、1 不適切の評価となります。

2023年度の各内容における総平均点は以下の結果となりました。

2023年度評価結果

3.5以下赤字

評価 大項目	2022	2023
I 教育理念・目的	3.75	3.75
II 学校運営	3.64	3.73
III 教育活動	3.60	3.58↓
IV 学修成果	3.23	3.50
V 学生支援	3.70	3.81
VI 教育環境	3.63	3.74
VII 学生の募集と受け入れ	3.70	3.75
VIII 財務	3.65	3.55↓
IX 法令等の順守	3.88	3.88
X 社会貢献・地域貢献	3.25	3.50



I. 教育理念・目的

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
1	教育理念・目的・育成人材像は、定められているか	4.0	教育理念・目的・育成人材像は定めている。
2	学校における看護教育の特色は明確であるか	4.0	「感じ、考え、自己を見つめ直せる看護実践者を育成する」ことを主軸に、リフレクションと社会人基礎力に重点を置いている。卒業3年の教育体制について母体病院と共通認識が図れている。
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.4	千葉県東総地域における地域中核病院の附属看護専門学校としてのあるべき姿はみえている。少子化を見据えたなかで、専門学校が生き残りの将来構想までは描けていない。
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者等に周知されているか	3.6	理念・目的を学生には折に触れ説明している。保護者への説明は、入学時および保護者会、学年だよりで説明している。また、ホームページ(以下HP)に記載している。しかし、周知できているか否かの評価まではできていない。

①課題

・母体病院の経営構想(看護師確保)に適った学校の将来構想

②特記事項

II. 学校運営

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9	教育理念・目的・目標から運営方針が策定されている。
6	理念等を達成するための事業計画が策定されているか	3.8	年度末評価から新年度重点課題の抽出がなされて、会議を通して教員間で共有し取り組んでいる。
7	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	3.7	明確にされており、教職員会議は原則全員が出席できるようにしている。しかし、会議での活発な意見交換には至っていない。
8	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4.0	就業規則など整備されている。
9	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.7	教務長に積極的に報連相を行い、学校方針に沿って適切に判断し実践している。最終的な意思決定は校長が行っている。
10	教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	4.0	教育課程が示されている。HPや院内報で教育活動の実績が公開されている。
11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1	ICT化に伴う更なる効率化に期待する

①課題

・業務の効率化を図る

②特記事項

・2023年度入学(61回生)より電子教科書使用開始

Ⅲ. 教育活動

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
12	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4.0	教育理念に基づいた教育課程の編成・実施方針等の策定がなされている。
13	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7	新カリキュラム運用で改訂されている。年間を通しての自習時間の活用、協働学習の充実が図られている。主体的な自習時間の有効活用ができる学生は少ない。
14	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.7	カリキュラムは体系的に編成されている。
15	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.6	社会人基礎力を根幹に据えた教育をしている。教員個々の学習による教育方法の工夫に終わっている。電子教科書を活用した教育方法の充実には至っていない。
16	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.9	授業評価を実施しているが、評価結果の活用は個人に任せている。実習評価はできていない。
17	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	3.9	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準等は学則等で明記しており、学生生活のしおり(学生便覧)に掲示し学生に周知している。
18	目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	3.8	教育の分断を避けるために、3か年を通した学力向上プロジェクトを構築し担当者を置いている。授業とは別に国家試験対策として講義担当講師による特別講義を実施している。また、3年次後期からは国家試験対策に特化した講師を招致して国家試験特別講義を実施している。模試結果の低迷者には個別指導を行っている。
19	資格・要件を備えた教員を確保しているか	2.7	看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインで定められた教員数は10名である。10名の教員は確保できているが、要件を満たした教員は7名であり専任教員の確保は課題である。人事交流制度を利用した2名の看護師が教育に当たっている。
20	関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	3.1	日本看護学校協議会および千葉県看護学校協議会に加入し研修会や他行との交流が図れる機会は多くなっている。Web研修も多くなり参加しやすい環境となったが活用者が少ない。研究授業の構築はできているが、今年度は全員が実施できていない。教員の指導力の個人差は大きい。先輩教員に個別に依頼し指導をもらっている。教員ラダーを用いた自己評価をはじめている。

①課題

- ・専任教員の確保及び定着
- ・教員の指導力の向上

②特記事項

- ・教員採用可能人数13名
- ・指定規則上10名の専任教員が必要
- ・2024年4月期首 教員数11名予定。そのうち新任教員4名
- ・2023年8月から教員ラダー使用(熟達期・管理期:1名、中堅期1名、一人前教員4名、新任教員4名)

IV. 学修成果

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
21	就職率の向上が図られているか	3.9	就職率は常に100%である。2023年度卒業生の母体病院への就職率は100%であった(2022年度は2名他院へ就職)。
22	資格取得率の向上が図られているか	3.8	国家試験の合格率は2017、2018、2019年度は連続100%であったが、2020年度は96.6%となった。個別支援の強化を行い2021、2022年度100%となっている。2023年度は結果待ち。
23	退学率の低減が図られているか	3.3	54回生からの退学者数の推移は54回生(13名)、55(3)、56(7)、57(9)、58(10)、59(6)、60(2)、61名(6名)となっている。毎年一定数はいるが、前向きな進路変更も多い。今年度は学業不振による1年次退学がでている。学業不振に関しては、単位未取得による次年度再履修者が多数出ている。
24	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0	社会的な活躍の捉え方に不明瞭な部分はあるが、母体病院においての活動(活躍)は把握できている。

①課題

- ・退学率の低減
- ・学業不振学生の低減

②特記事項

V. 学生支援

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
25	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9	奨学生であることから入学時より母体病院への就職が決定している。3年次実習と並行して就職活動をする必要がない。看護学校での修業状況が採用に関与していない状況がある。助産師資格取得への経済的支援体制(奨学金10万/月)も母体病院で整備されている。2023年度は1名進学している。
26	学生相談に関する体制は整備されているか	3.7	定期的な学年担当による面接を実施し、相談できる場を提供している。また、相談窓口として全教員の連絡先(アドレス)を学生に周知しているが今年度の利用者はいない。学校カウンセラーの利用者は2021年度4名(20回)利用、2022年度は2名(5回)、今年度の利用者はなし。社会的に看護学校における教員ハラスメントが注視されている。実習・演習における担当教員の指導に対する意見が教務長に4件あがってきており対応している。実習不合格者には実習調整者面接を実施している。実習先での看護の対象からのセクハラ行為が数件あったが速やかに対応している。
27	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.0	奨学金4万円の支給により、授業料(15,000円/月)および学生住宅費(11,700円/月)の支払いが可能となるような経済的支援が準備できている。また希望者には貸付金の利用制度も準備できている。高等教育修学支援制度を26名が利用している。また、千葉県保健師等修学資金を28名が受けている。専門実践教育訓練給付金制度の利用者は10名(昨年4名)である。

28	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4.0	健康管理規定に基づき、母体病院の協力を得て管理を行っている。定期の健康診断の実施とワクチン接種の実施など学生の健康保持のための体制ができています。また、旭中央病院感染対策室と新型コロナウイルス抗原検査の実施をはじめとした連携がとれている。
29	学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	3.9	89名の入居が可能な学生住宅を完備している。入居率96%である。電子教科書の導入に合わせWi-Fi環境の整備もされている。建物の老朽によるカビの問題などが数部屋でている。
30	保護者と適切に連携しているか	3.9	再試験数が多い、再実習、単位未修得に該当する学生の保護者には、妥当な時期に連絡を入れて状況の共有と支援が図れている。担任による対応では難しい事案は、教務長を窓口にした対応をとっている。
31	卒業生への支援体制はあるか	3.4	母体病院看護局に勤務調整の協力を得ながら、卒業後の就業支援を目的としてホームカミングデイを6月に実施した。実習施設で卒業生に会う際には声をかけている。職場適応への支援として「卒業時社会人基礎力」を作成し母体病院看護局と連携を図っている。2023年度の新人離職者は1名で2%となっている。
32	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.7	専門実践教育訓練給付金制度の利用者が10名いる。ハローワーク通所を公欠対応とし、不利なく教育が受けられるように配慮している。
33	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.9	高校教員対象学校説明会を開催し、当校の教育及び入試関係の説明を実施している。学校事務職員による学生募集ガイダンスを積極的に行っている。高等教育修学支援制度を26名が利用している。

①課題

・学業不振・退学を防ぐ学生支援

②特記事項

・2023年度ハラスメント防止に関するガイドライン作成

・2022年度新卒採用者離職率 10.3%(2023年4月発表 日本看護協会資料より)

VI. 教育環境

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
34	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.7	現在の校舎が竣工してから約30年が経過し、破損や老朽化した設備もあるが、教育に対応できる設備にはなっている。ガイドラインで指定されている設備がある。学生住宅は老朽化に伴い、カビの気になる場所もある。
35	学外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.8	母体病院においては臨床実習指導者委員会と連携しながら体制を整えている。母体病院以外の外部実習は担当教員が適正な調整を図っている。Zoomを活用し千葉県看護学生研究発表会への参加もできている。
36	防災に対する体制は整備されているか	3.8	4月に1年生対象災害訓練、8月には3学年合同の災害訓練、2月には学生住宅災害訓練を実施した。また、2月には旭市総合防災訓練に3年生が参加した。防災訓練の実施はしているが、避難誘導訓練、初期消火訓練が中心である。

①課題

・実効性のある災害訓練

②特記事項

・電子教科書導入に伴い、学内および学生住宅のネット環境が整備された。

・2024年1月に能登半島地震あり

VII. 学生の募集と受け入れ

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
37	学生募集活動は、適正に行われているか	3.7	今年度から対面でのオープンキャンパスを7月と8月に再開した。あわせて94名の参加があった。昨年度は公募推薦を導入し、今年度は一般入試一次の実施時期を1月から12月に早め、二次を1月に変更して実施した。推薦38名(前年45名)、社会人19名(10)、一般一次39名(36)、二次6名(13名)と受験者数は全体で90名(前年度116名)であり、約20%減である。
38	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4	オープンキャンパスで説明している。高校ガイダンスは事務職員が行っているため、教育成果としての看護師国家試験合格率など数値的なものは伝えられるが、質的なものに関しては限界がある。
39	入学選考基準を明確化し、適正に運用しているか	3.9	入学選考基準はHPおよび募集要項にて公表し、公表したものに則った運営をしている。面接試験は評価表をもちいて実施している。また合否判定会議を経て決定している。
40	学納金は妥当なものとなっているか	4.0	千葉県内の専門学校と比較し学費は安価になっている。安価であるという経済面を魅力として選ばれてやすい学校となっている。

①課題

・ガイダンスの戦略的展開

②特記事項

・2024年度ガイダンス担当者変更

VIII. 財務

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
41	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.8	新型コロナウイルスの影響もあり母体病院の財政基盤に不安定さあり。運営上必要な予算は母体病院から措置されている。
42	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.8	予算会議を経て妥当性のあるものにはなっている。
43	財務について適正に執行管理が行われているか	3.7	母体病院の経理課および学校事務にて適正に管理されている。
44	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0	病院のHPに公開されている。

①課題

・経費節約

②特記事項

IX. 法令等の遵守

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
45	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか	3.9	専修学校設置基準等を遵守し運営しているが、看護教員養成講習会未受講あり。
46	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.6	個人情報のデータ管理はシステムを用いておこなっている。データ使用時の慎重な確認は必要である。学生の個人情報を教員間で共有する場面は多い。
47	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.9	年度末に自己評価を実施し、達成度を教職員会議で共有している。評価結果から問題点を抽出し、改善に取り組んでいる。
48	自己評価結果を公表しているか	4.0	HPIに掲載している。
49	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0	学校関係者委員会を開催し、評価している。在校生(自治会役員)も委員に加わったことでより透明性がある。
50	学校関係者評価結果を公表しているか	4.0	HPIに掲載している。

①課題

・教育上知りえた個人情報の適正管理

②特記事項

X. 社会貢献・地域貢献

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
51	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.6	近隣小学校および近隣住民の避難場所として施設を提供している。地域活動として、おひさまテラスで行われた病院祭りに学生も参加した。毎年、看護学校を会場に献血を実施し、今年度は約35名の学生等が献血に協力している。ボランティアサークルの活動もコロナウイルス5類化に伴い再開を始めた。
52	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.4	ボランティア活動が浸透されつつあり、今後も活動の活性化が期待できる。

①課題

②特記事項

2023年度 学校関係者評価報告 (旭中央病院附属看護専門学校)

旭中央病院附属看護専門学校は、「2023年度学校自己点検・自己評価」の結果をもとに、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 日 時 2024年3月26(火) 13:55~15:20

2. 場 所 旭中央病院附属看護専門学校 会議室

3. 出席者

1) 評価委員：5名

①関連業界等関係者

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 総務人事課長

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 看護局長

②卒業生

旭中央病院附属看護専門学校 同窓会長

③教育に関し知見を有する者

旭中央病院附属看護専門学校 教育学講師

④在学生

旭中央病院附属看護専門学校 自治会代表

2) 学校関係者

旭中央病院附属看護専門学校 学校長

旭中央病院附属看護専門学校 事務長

旭中央病院附属看護専門学校 教務長

旭中央病院附属看護専門学校 実習調整者

旭中央病院附属看護専門学校 事務主査

4. 2023年度 学校関係者評価結果

※評価は4段階(適切、ほぼ適切、やや不適切、不適)

1. 教育理念・目的

I 教育 理念 ・ 目的	評価項目	全体評価結果
1	教育理念・目的・育成人材像は、定められているか	適切：2 ほぼ適切：7
2	学校における看護教育の特色は明確であるか	
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者・に周知されているか	
意見等	・母体病院の教育理念につながる学習、実習のあり方を共に考えていきたい。 ・教育理念・目的の部分では十分な努力が見られる。 ・母体病院の将来構想との連動が重要課題となる。18才人口の経時的推移に関心を向け、変化させていかなければならない。 ・理念は適宜見直しして下さい。 ・医療機関を取り巻く環境が大きく変化していることから、母体病院においても将来像の検討が行われることになっており、これを踏まえて、学校としても将来構想を検討する必要がある。 ・教育理念等に定められている人材の育成はできていると思われまます。母体病院の人材確保のため、今後ともよろしくお願ひします。 ・3.については、今後の病院の方針に沿って、検討が必要。	

2. 学校運営

	評価項目	全体評価結果
II 学校運営	5 目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切：5 ほぼ適切：4
	6 理念等を達成するための事業計画が策定されているか	
	7 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	
	8 人事、給与に関する規定等は整備されているか	
	9 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	
	10 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	
	11 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・11. 持ち帰り残業の把握が必要。 ・電子教科書の有効活用をお願いします。 ・電子教科書使用後の教員及び学生からみた評価を知りたい。 ・11. 他校の状況も研究して下さい。 ・問題なくできていると感じる。 	

3. 教育活動

	評価項目	全体評価結果
III 教育活動	12 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	適切：2 ほぼ適切：7
	13 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
	14 カリキュラムは体系的に編成されているか	
	15 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
	16 授業評価の実施・評価体制はあるか	
	17 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	
	18 目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	
	19 資格・要件を備えた教員を確保しているか	
	20 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	
	意見等	

4. 学修成果

	評価項目	全体評価結果
IV 学修成果	21 就職率の向上が図られているか	適切：4 ほぼ適切：4 やや不適切：1
	22 資格取得率の向上が図られているか	
	23 退学率の低減が図られているか	
	24 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・23. 努力しているが結果上結びつくのは一般に難しい面がある。 ・24. 必要ではあるが把握は困難を伴う。 ・21. 100%就職に疑問がある。現場にでてきて苦勞するケースが散見する。急性期の病院への就職が可能か、学校での見極めが必要。採用試験も、1月では遅い。 ・退学率が低減する努力は教員には十分に感じられる。 ・学生の変化もあり、学校だけで対応できるものではないが、取り組みは重要かつ必要であると思われます。 ・学生一人一人の能力に差があり、その差にうまく対応できていない。病院でも同じ傾向にある。 ・再履修者の減少に尽力してください。 ・就職率100%ではあるが、母体病院の将来構想により人材確保数の変動は否めない。学習への個別支援の強化は継続する必要がある。 	

5. 学生支援

		評価項目	全体評価結果
V 学生支援	25	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切：5 ほぼ適切：4
	26	学生相談に関する体制は整備されているか	
	27	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
	28	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
	29	学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	
	30	保護者と適切に連携しているか	
	31	卒業生への支援体制はあるか	
	32	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
	33	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントの種類は沢山あるが、いずれも学習の妨げにならない環境整備は必要である。 ・33. 卒後のキャリアパスの方向を示すことも必要。 ・学生支援はされていると思うが、学生にはあまり伝わっていないところがある？どのような支援を望むか学生の意見をうまく反映できたらよいのか。 ・適切に対応されていると思われまます。 		

6. 教育環境

		評価項目	全体評価結果
VI 教育環境	34	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	適切：5 ほぼ適切：4
	35	学外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	
	36	防災に対する体制は整備されているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化はあるものの、環境整備はされている。学生に過ごしにくい状況があるか確認してみてもよい。(学校内) ・34. 学生の体位向上に合わせた机・椅子が現状でよいのか他校の状況の研究が必要。 ・教員の方々の思いや努力を感じます。今後も病院との連携、協力体制が必要。 ・教育に影響がないよう適切に対応されています。 		

7. 学生の募集と受け入れ

		評価項目	全体評価結果
VII 受学生募集と受け入れ	37	学生募集活動は、適正に行われているか	適切：6 ほぼ適：3
	38	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
	39	入学選考基準も明確化し、適正に運用しているか	
	40	学納金は妥当なものとなっているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴い、学生の確保が厳しくなっていくことが予想されるが、今後とも、いろいろな機会を活用して積極的な募集活動をお願いします。 ・18才人口減少に伴い、専門学校の生き残り計画を本格的に進めていくことが課題である。 ・学生の傾向変化がありニーズをふまえて対策を行っているが難しい点がある。魅力あるメリットをいかした学校づくりをひき続き行う。 ・40. かなり低額に抑えられているのでその点をもっとアピールされてよいと思う。 		

8. 財務

		評価項目	全体評価結果
VIII 財務	41	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	適切：5 ほぼ適切：4
	42	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
	43	財務について適正に執行管理が行われているか	
	44	財務情報公開の体制整備はできているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・母体病院も厳しい状況にありますので、経費節減に向け努力してください。 ・母体病院の経営に応じて決定されるため、必要・不必要の考えをもち、学校運営に携わる必要がある。 		

9. 法令等の順守

	評価項目	全体評価結果
IX 法令等の順守	45 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか	適切：7 ほぼ適切：2
	46 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
	47 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
	48 自己評価結果を公表しているか	
	49 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	
	50 学校関係者評価結果を公表しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・成績管理だけでなく、個別介入が多いほど情報管理の徹底が重要になると考える。 ・個別情報保護の対策は十分にとられている。 ・教員の方々の働き方、教える側のゆとりもほしいですね。 ・個人情報の管理には、十分注意してください。 	

10. 社会貢献・地域貢献

	評価項目	全体評価結果
X 社会貢献・地域貢献	51 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切：2 ほぼ適切：7
	52 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に対応されています。 ・自治会活動による地域貢献も期待できる。 ・新型コロナもあったが、継続した取り組みが必要と思われます。 	